

平成 26 年度予算要求に係る 「国家的に重要な研究開発の事前評価」について

平成 25 年 9 月 5 日
評価専門調査会

1. 事前評価の実施について

総合科学技術会議では、「総合科学技術会議が実施する国家的に重要な研究開発の評価について」(平成 17 年 10 月 18 日 総合科学技術会議決定)に基づき、新たに実施が予定されている国費総額が約 300 億円以上の研究開発については、事前評価を行うこととされている。

今般、各府省から平成 26 年度予算概算要求が提出されたことに伴い、対象となる研究開発の事前評価を実施することとする。評価は、評価専門調査会が調査・検討を行い、その結果に基づき総合科学技術会議で決定することとする。

2. 事前評価の進め方

評価に必要な調査・検討を行うために、各評価案件毎に評価検討会を設置して、事前評価を行うものとする。

検討会メンバーについては、評価専門調査会長が、評価専門調査会の議員・専門委員並びに外部の専門家・有識者を指名し、選定する。

3. 実施スケジュール(予定)

平成 25 年 9 月 5 日 評価専門調査会

○評価対象案件及び評価検討会設置の確認

平成 25 年 10 月～11 月

評価検討会(2回程度)

○担当府省からの聴取等に基づく調査検討

平成 25 年 11 月

評価専門調査会

○評価結果案の取りまとめ

平成 25 年 11 月末日途

総合科学技術会議

○評価結果の審議・決定

(評価結果を総合科学技術会議議長から関係大臣に通知等)

4. 評価対象

評価対象の研究開発については、別紙のとおり。

事前評価対象研究開発(案)

- (1) 「エクサスケール・スーパーコンピュータ開発プロジェクト(仮称)」
【文部科学省】

＜研究開発概要＞

第四期科学技術基本計画で国家基幹技術とされている世界最高水準のスーパーコンピュータを国として戦略的に開発・整備し、科学技術振興、産業競争力強化、安全・安心の国づくり等を実現する。具体的には、様々な社会的・科学的課題の解決に資する計算性能1エクサフロップス(「京」の約100倍)レベルのスーパーコンピュータの開発・整備及びそれを活用するためのアプリケーション開発を行い、平成32年(2020年)頃までに運用を開始する。

＜実施期間＞ 平成26年度～平成31年度

＜予算額＞ ○概算要求額:30億円(平成26年度)
○開発・製造費:約1200億円